



第35号  
国立市北2-4-28  
能味寿哉575-7110  
印刷 新津印刷(株)

### 存在感のある中央大学への道

会長 能味 寿哉

国技大相撲の夏場所が五月十三日から始まった。先場所十両優勝して待望の幕内入りをとげた若枚の初日から4連勝は、本当に気持ちのいい試合ぶりだと人気も急上昇している。

一方、玉春日と出島の両力士は、やや精彩を欠いて心許ない思いがするが、中盤からの活躍に期待している。

さて昨年シドニー五輪で大活躍を見せてくれた日本女子水泳部のエースは、こぞつて中大水泳部の部員であることを知らない人はもういないだろう。やや言い過ぎかもしれないが、田中雅美、中村真衣、源純夏と言った女子選手の名はスポーツファンにとつて忘れられない存在となった。シドニーではプレッシャーから不本意な成績に終わった田中雅美は、この春中大を卒業してアメリカ留学が決まった。4年後のアテネ五輪へ向けての新たな精進が望まれるところだ。「中大に進学したおかげです」と母校への感謝の言葉を忘れない彼女の謙虚なメ

ッセージには心打たれた。是非一層の大成を祈りたい。

反面、過去の栄光に見放されて逆境に喘いでいるのが、この春の硬式野球部だろう。名捕手で打撃の強かった阿部慎之助が東都大学のリーグ優勝から日本一に導いたのは昨年夏のことだった。その彼が自ら志願して読売巨人軍に入団してからの活躍は、アンチ巨人のファンにも格別の関心を集めて、プロ野球の新たな発展を呼び起こす元ともなっているが、彼が去った後の試合の成績は残念の一言に尽きる。母校当局もスポーツの華とされる野球の部員獲得には特に留意している話も聞くし、今年も優秀選手の入部を確実にしたというので若い部員諸君の奮起をかつ目している。そして、今や国民的人氣的

である箱根駅伝の現状である。今年正月二日、三日に全国駅伝ファンの目を釘付けにした10区間長丁場の箱根路、三十七年ぶり十五度目の往路Vをかちとつたあの山下り。前を力走する法政の大村をラストで抜き去った藤原正和の雄姿はすばらしい感動を与えてくれた。彼は「絶対抜ける」と確信して満を持していったのだ。復路は木下監督のいうように「選手層の違

いだ。あと一人いればこっちのものだった」と嘆息させたが、出雲の全日本大学選抜、全日本大学、箱根駅伝と「駅伝三冠」に輝いた順大には敬意と祝意を表しているし、来年こそは、五年前の総合優勝をとつたあの日の感激をもう一度かなえさせて頂きたい。それにしてもシード権落ちした名門早稲田の凋落ぶり。かつてのエース瀬古さんも泣くに泣けない心境だろうとお察ししている。

ここで私が申し上げたいのは、中大スポーツの振興は母校監督、各選手自身に加えて学員にも責任があるということ。学員会には「大相撲力士後援会」、「箱根駅伝を強くする会」、「中大スポーツメイト」、「女子陸上選手後援会」等々が門戸を開け放って皆さんの熱い支援を待ち受けている。私自身は古い友人の一人である対馬逸

雄氏に頼まれて「力士後援会」に入れてもらい、昨年は出島の大関取りにしてやったり痛快な喜びを味わわせてもらった。

かつて故高木友之助総長が「中大を私学の日本一」と望まれ、現阿部三郎理事長は「中大を存在感のある大学」と目標をたてられた。勿論、スポーツや文化面だけでなく、司法試験、公認会計士、国家公務員といった難関資格への合格者増加も大事ではあるが、二十一世

紀はロースクール、ビジネススクールの創設も求められていることはご承知の通りで、早速市ヶ谷キャンパスでアカウンディングスクールの開校が決まったことは非常にタイムリーだったと評価されている。

わが母校が私学の巨峰の一つとしてその存在を高めつつあるのは欣快にたえないところだし、国立支部も三多摩支部連絡協議会のメンバーとして母校の発展に更なる寄与を誓いたい思いで一杯である。



上野精養軒にて 99 .9. 2



前後でアリガゴルフ、サイトーゴルフ、サンゴルフ、ヨコオゴルフ、アサヒ等の中小クラブメーカーはつぶれて残っていません。ゴルフクラブの流れは全て大手の資本力のある企業に変わったといえますし、それだけ需要が増したといえます。例えば、セイコー、マルマン、ダイワ、横浜ゴム、ブリジストン、ヨネックス、ダンロップ、ミズノ等は後発メーカーです。ゴルフ場の数は30年前583コースありました。現在は2316コースです。4倍に増えました。ゴルフを比べると府中カントリークラブはグリーンフェイが日曜日5000円、キャデイレイが5800円、その他税金等を入れると、合計6730円でした。私の初めての給与が月4、2万円の時代ですので、いかに高かったかと言えます。

のような堂々とした態度は取れない。なにか遠慮して言えない。その様な仕種は、真似出来ないと感じた次第です。まだまだ、ゴルフに來ている雰囲気や質が間われ、部外者を入れないメンバーとビジターの垣根があつた様に思われます。

ゴルフは大衆化の時代になりました。そして、バブル時代を通して、法人接待や会費権の高騰を迎えました。しかし、何か本質を忘れて推移したかもしれません。今、その反動がでています。

神奈川県のスリーハンドレッドカントリークラブは、東急の五島昇氏がメンバーを300人に限定して作ったコースですが、25年前の頃、石原真太郎が家族で夏休みに来ていました。彼はゴルフプレーを終るなり、その場で従業員に「海水パンツとビールをもつてきてくれ」と言いつけました。クラブハウス裏のプールでさつと泳ぎ、パラソルの下でビールを飲んでいた景色は忘れられません。何故かと言うと、私の育った環境にいない人に思えて、あ

ゴルフのプレーは自分の性格が良くわかるもので、他人も見えるものです。ゴルフはボールをコントロールし自分をコントロールして、コースに立ち向かうものです。自分で判断し、自分で責任を負うスポーツです。5時間のラウンド中、考えることが多く、実際にスイングやパットする時間は合計3分位だと思えます。ですから、常にかんがえている時間が長いスポーツです。

「お金」がなければ出来ません。又、一日過「す」という「心の余裕」がなければ出来ません。しかし99歳で現役でプレーをしている人もいます。塩谷信男さんと言う方です。私はこの方に会うと、ゴルフができる老後を迎えたいと願うし、自分はいつまでできるだろうか。定年後はどうだろうかと思

思います。その意味で、国立白門会が、その様な機会を作り出す役割があり、親睦ゴルフ会が開催されるのを楽しみにしています。

本年は、国際交流と国の名誉をかけて競い合うワールドカップが世界24カ国48選手により賞金総額300万米ドルをかけて、静岡県岡島の太平洋クラブ御殿場コースで11月15日から18日まで開催されます。世界からタイガーウッズや国を代表した選手が来日します。このことにより、沈滞している日本のゴルフ界が活性化し、新たなブームがおきることを祈っています。

### すわ鎌倉

田口 正明

前回の「御茶ノ水界限」で、笹巻毛抜鮓について、触れてみた。そこで、今回は、魚への鮓(すし)ではなく、調味料としての酒への鮓に関連した語呂あわせを、とりあげてみたい。

昔の子供は、語呂あわせの遊びをよくした。その一つに「すわ鎌倉」がある。

醤油の産地は？ 野田。

じゃ、鮓は？ わからない。

教えてあげる。

鎌倉だよ。

なぜ。

鮓(す)は、鎌倉。

こういう語呂あわせの遊びは、昔大人の世界から子供の世界へ広まっていた。この「すわ鎌倉」は謡曲の「鉢木」より広まった。鉢木と書いて「はちのき」と読む。この物語の粗筋は、つぎの通りである。

昔、旅の僧が、栃木県の佐野市あたりで、大雪にあった。あまりの大雪のため、一夜の宿を借りることにした。家の主人は、荒れ果てた見苦しい家だが、心をこめて旅の僧をもてなした。栗の飯をだし、大切にしている鉢木を薪にして暖をとらせた。

旅の僧は、あまりの親切に名を尋ねると、佐野常世と名のつた。今は一族の者に領地を横領され、このような見苦しい生活をしている。しかし、鎌倉に一大事があるれば、すぐ駆けつける覚悟である。謡曲の詞章、すなわち文章は、つぎのように綴っている。

「鎌倉に御大事あらば、ちぎれたりとも、この具足をとって投げかけ。錆びたりとも、長刀を持ち。瘦せたりとも、あの馬に乗り。一番に馳せ参じ。敵大勢ありとても一番に破つて死なん」

「鎌倉に御大事あらば」は、鎌倉に一大事が起きたら、という意味であり、そのときは、取るものも取りあえず、おっとり刀で駆けつける。鎌倉將軍のいる鎌倉へ、いち早く駆けつけることが、鎌倉武士の心意気である。

鎌倉武士の心意気は、わが母校の質実剛健の校風に似たものがある。私が在学していた頃は司法試験にパスすべく片方の眉毛をすり落とし、外出できないようにして、勉強に励む学生もいた。

この「鎌倉に御大事あらば」が、後世「いざ鎌倉」になり、「いざ鎌倉」になった。そして、「いざ行かん」という意味にもなった。謡曲の普及は、武家社会はもろん町人階級にまでおよんだ。町民の古典文学の源泉にもなった。佐野の馬 戸塚の坂で 二度ころび

これは、佐野常世の瘦せ馬をからかった川柳である。ある日突然、関東武士に鎌倉より非常召集がかかった。佐野常世は、佐野から鎌倉へ駆けつける途中、横浜の戸塚の坂で瘦せ馬とともに転んでしまった。この時の様子を、戸塚の町人が揶揄した川柳である。これは、町人が「鉢木」という謡曲を身につけていたからできたのである。

古都鎌倉には、「鉢木」にちなんで、会席料理の鉢の木という店がある。先日、文学散歩をかねて、謡曲愛好者らと鉢の木で食事をした。この席上で、「すわ鎌倉」の語呂あわせの話を聞きおよんだ。そこで、参考までに紹介させていた。なお、ここに取あげた「鉢木」は、ドラマの前半である。後半は、またの機会に。

### 平成12年度 国立白門会決算書

自平成12年4月1日 至平成13年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	決算	予算	科目	決算	予算
年会費	204,000	300,000	印刷費	63,000	160,000
総会会費	84,000	120,000	総会費	189,944	180,000
寄付、祝金	110,000	0	交際費	144,970	150,000
特別収入	66,529	30,000	親睦行事費	130,694	70,000
雑収入	298	0	通信費	53,770	60,000
前年度繰越金	550,873	550,873	会議費	11,600	30,000
			事務用品費	4,252	20,000
			雑費	27,240	20,000
			予備費	0	310,873
			次年度繰越金	390,230	
合計	1,015,700	1,000,873	合計	1,015,700	1,000,873

平成13年5月10日

会計 高橋雅幸 印  
 会計監事 矢戸勇之 印

### 平成13年度 国立白門会予算案

自平成13年4月1日 至平成14年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	摘要	金額	科目	摘要	金額
年会費	3000円×100名	300,000	印刷費	白門会ニュース、名簿	200,000
総会会費	5000円×30名	150,000	総会費		200,000
特別収入	さくら祭、市民祭	30,000	交際費	近隣支部総会祝金他	150,000
前年度繰越金		390,230	親睦行事費	納涼会、新年会	100,000
			通信費	会員連絡他	60,000
			会議費	役員会他	20,000
			事務用品費		20,000
			雑費		30,000
			予備費		90,230
合計		870,230	合計		870,230

#### 平成12年度活動報告

##### 厚生部

- \* 7/22(日) 納涼会(富士見台ビアバー)
- \* 10/9(月) くにたちウオーキング参加
- \* 10/21(土) サントリービール工場見学
- \* 11/19(日) ゴルフコンペ(上野原CC)
- \* 2/4(日) 新年会(すえひろ)

##### 事業部

- \* 4/2(日) 「さくらフェスティバル」参加
- \* 4/8(土) 中大多摩校舎観桜会
- \* 6/11(日) 定時総会 プリンセスライラ
- \* 11/5(日) 「くにたち市民まつり」参加

##### 組織部

- \* 会員増強

- \* 国立白門会ニュース34号発行

#### 平成13年度活動計画

##### 厚生部

- \* 7/20(祝) 納涼会
- \* 10/8(月) くにたちウオーキング参加
- \* 10/21(日) ゴルフコンペ
- \* 11/18(日)~19(月) 秋の一泊旅行
- \* 1/27(日) 新年会

##### 事業部

- \* 4/8(日) 「さくらフェスティバル」参加
- \* 4/8(日) 中大多摩校舎観桜会(不参加)
- \* 6/10(日) 定時総会 プリンセスライラ
- \* 11/4(日) 「くにたち市民まつり」参加
- \* 11/11(日) 中央大学学術講演会(公民館)

##### 組織部

- \* 会員増強 ・ 会員名簿作成

- \* 国立白門会ニュース35号発行